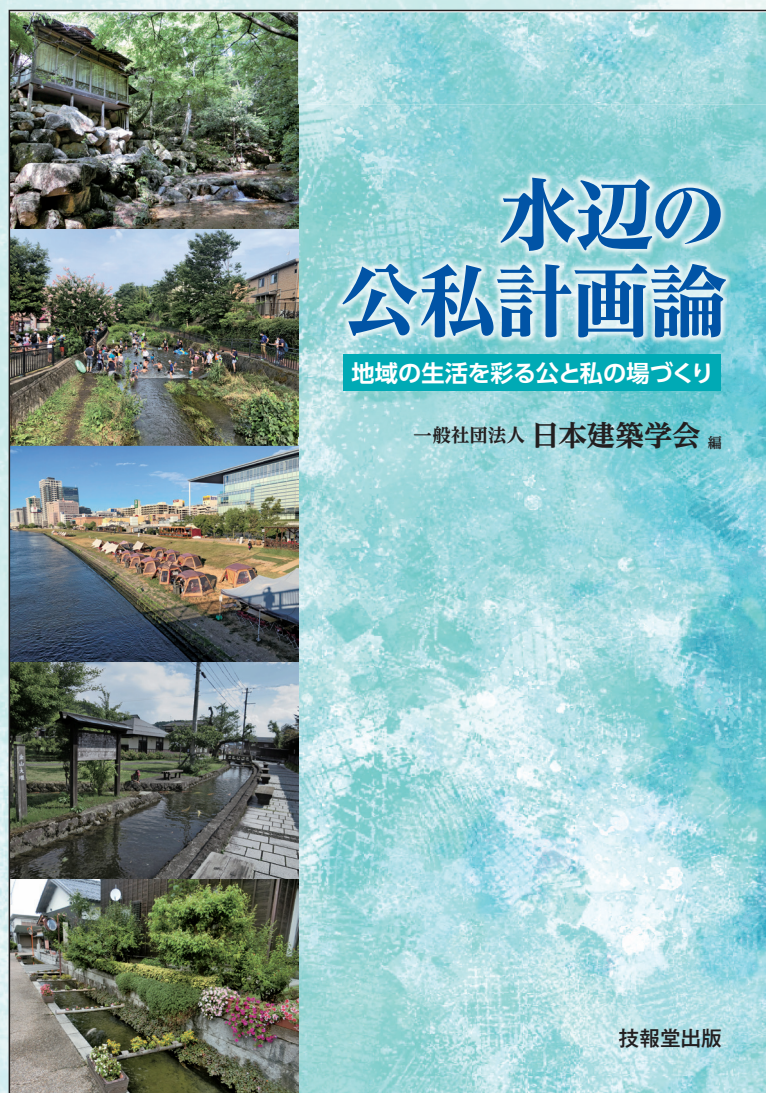


新刊案内

水辺の公私計画論

地域の生活を彩る公と私の間づくり

日本建築学会 編



本書は、「水辺」「親水」に関する新機軸の研究成果をまとめたものであり、「序論」「論説」「事例」の3つで構成されている。

「序論」では、公私計画論とは何かという全体の概念を提示し、研究成果全体の基本的方向性を示している。

「論説」では、7つのテーマとなる「コミュニティデザイン論」「公私「まちニハ」論」「民間開放論」「住生活論」「歴史継承論」「環境・防災論」「都市河川空間の領域デザイン論」について委員それぞれが論じている。

最後の「事例」では、全国水辺の公私空間マップとして、全国に分布する水辺空間事例を取りまとめている。

定価 **2,860 円** (本体 2,600 円+税 10%)

A5判・144頁(本文一部カラー頁) ISBN978-4-7655-2643-2

問い合わせ先



技報堂出版 <http://gihodobooks.jp/>

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-2-5 TEL 03-5217-0885 FAX 03-5217-0886

ご注文書は裏面にあります

[序論]

序論

公と私が重なり合う場に (岡村幸二)

- 0.1 公私計画論における研究の背景
- 0.2 失われた水辺と公と私がつながる水辺
- 0.3 人・自然・社会の関係の再構築
- 0.4 公私計画論における5つの論点

[論説]

第1章

水辺の公私空間コミュニティデザイン試論 (上山 肇)

- 1.1 水辺（親水空間）の利用実態
- 1.2 公私空間コミュニティデザインの定義
- 1.3 水辺コミュニティの範囲とコミュニティデザイン
- 1.4 花と緑を活用したオープンガーデン
- 1.5 水辺の公私空間コミュニティの可能性

第2章

人でつながる

公私「まち二八」論 (岡村幸二)

- 2.1 居心地のよい空間とは
- 2.2 公・私・自然の関係を捉える
- 2.3 公私が共存するパターン分類（水と緑が公・私にどう関わるか）
- 2.4 市民主導でつながる公私空間
- 2.5 公私空間と「まち二八」論

- 2.6 居心地のよい場を実現するうえで大切なこと

第3章

民間開放論 (菅原 遼)

- 3.1 都市の水辺開放が導く地域と水の係わりの再構築
- 3.2 規制緩和が生み出す水辺利用の多様性
- 3.3 親水組織が育てる地域の共有資源としての水辺の存在
- 3.4 〈私〉的な水辺を〈公〉的に開放する
- 3.5 水辺の民間開放を支える仕組みと地域波及の発展性

第4章

住生活論 (畔柳昭雄、青木秀史)

—流域の住まい方から見る、持続可能な暮らしの形—

- 4.1 暮らしと水
- 4.2 水の脅威が醸成する住民意識
- 4.3 水がもたらす暮らしの中の習慣
- 4.4 暮らしの中の規律と備え
- 4.5 水がもたらす流域で住むための住まいの形

第5章

歴史継承論 (市川尚紀)

—持続可能な水辺の景観まちづくりに向けて—

- 5.1 都市（公）は個（私）の集合体
- 5.2 “のこす”
- 5.3 “つくる”“いかす”
- 5.4 国の法制度に頼らないまちづくり

- 5.5 持続可能な水辺の景観まちづくりに向けて

第6章

環境・防災論 (田中貴宏)

—快適で安全な都市空間づくりに向けて—

- 6.1 水と緑の空間の環境
- 6.2 豪雨による災害の増加
- 6.3 河川と市街地の緩衝空間（典型モデル）
- 6.4 広島県呉市堺川周辺の事例（公的空間内の私的利用）
- 6.5 民有地の緑と水の空間（私的空間内の公的利用）
- 6.6 水と緑の公私空間における環境調和・防災に向けて

第7章

都市河川空間のスケール・ポジションと領域デザイン論

(飯田哲徳)

- 7.1 都市における河川空間
- 7.2 都市河川空間の領域設定
- 7.3 都市河川空間のスケール・ポジション
- 7.4 各空間の領域デザイン
- 7.5 都市河川空間の可能性

[事例]

全国水辺の公私空間マップ

(小海 諄)

—全国における水辺の公私空間の分布—

■お近くの書店にこの注文書をお持ちください。 ■オンライン書店からも、お求めいただけます。

ご注文書	水辺の公私計画論		ISBN978-4-7655-2643-2	注文部数	(メモ欄)
	地域の生活を彩る公と私の場づくり				
	定価 2,860 円 (本体 2,600 円 + 税 10%)			部	
	お名前		(法人の場合は所属とご担当者名)		
	法人名				
	ご送付先 〒				
	お電話				



技報堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-2-5
TEL: 03-5217-0885 / FAX: 03-5217-0886 <http://gihodobooks.jp/>

技報堂出版